

ことばの力 からだの力 こころの力

園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子

令和2年5月

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



「いつもと変わらない日」は
『特別な一日』

風薫る5月をようやく迎えました。幼稚園の周りでは、つじが満開の時を迎えています。しかし、どこか寂し気に感じられるのは私だけでしょうか。



皆さまとお会いできた4月4日(土)から、ひと月が過ぎました。4月7日に新型コロナウイルスの感染拡大の中、非常事態宣言が発出され、皆さまも不安と不自由な生活を余儀なく過ごされていることでしょうか。また、我慢することの多い生活を続けている子どもたちには、「会いたい!」です。幼いなりに頑張る姿に心からエールを送りたいと思います。Facebook をご覧いただけましたか。先生たちからの子どもたちへのメッセージは届いていますか?



いつもなら、幼稚園生活にも慣れはじめ、幼稚園へ行く不安から泣いていた新入園児は、幼稚園から帰宅を嫌がって泣き始める頃です。いつもなら、恥ずかしがっていた「おはようございます」も先生を見つけては「おはようございまちゅ」と笑顔を添えて見せてくれる頃です。いつもなら……。

この間、幼稚園の教職員も出勤体制を縮小しながら、園再開に向けた準備をしているのですが、やはり、寂しさは募るばかりです。子どもたちの明るい声が響く、あの当たり前の日常がどれほど尊いものであったかを改めてかみしめています。

ある新聞記事に、「いつもと変わらない一日」は「特別な一日」と紹介されていました。

この言葉の重みを見つめなおして、幼稚園再開の日を待ちます。そして、幼稚園が再開されたら、毎日が「特別な一日」ということを心に刻み、子どもたちに向き合いたいと思います。

本年度の保護者会活動について

本年度の保護者会については、この状況を鑑み、総会を経ずに開始されました。皆様からのご理解に深く感謝申し上げます。

三好会長様には、会長職三年目をお引き受けいただきました。大変なご苦勞とお世話をおかけしますが、引き続き、宜しく願いいたします。

これまで同様、互いに連絡を密にとりながら、状況等に応じて、幼稚園行事等の運営・実施の相談をしてまいります。特に、本年度は非常事態宣言下のため、一学期予定の保護者会行事はやむなく中止とさせていただきますが、ご理解のほど宜しくお願いいたします。



—今こそ、チャンス!— 「自分で!」

現代の教育課題の一つに、「主体的に学ぶ態度の脆弱さ」があげられています。

そもそも、人は、本来、生まれながらに、周りの環境(ひと、もの、こと)に自ら働きかけながら学んでいく力を持っていると言われていています。

2歳児によく見られる、「自分でする!」の連発。戸惑う親御さんも多いことでしょう。「主体性」の現れです。園では、この「主体的に学ぶ態度」を養うため、興味・関心の喚起と、見通しや振り返りの場の設定を大切にしています。

そのため、園の黒板には、活動カードを掲示し、朝の会で一日の見通しをもつ場を、また、終わりの会では一日を振り返る場を設け、明日への期待と見通しを持てるようにしています。

今こそチャンスです。ミニ黒板を用意して、今日一日の生活時間割を親子で話し合いながら決めてはいかがでしょうか?



ちなみに、孫たちの時間をご紹介します。2年生の孫は「1・2・3図工、4体育、5漢字」、5年生の孫は「1国語、2算数、3社会、4体育、5プログラミング、6外国語」です。それぞれの性格がよく現れていて、大笑いました!

今こそ、「自分で!」決めるチャンスです。